

## 作詞家「荒木とよひさ」 オペラと出会う

四季の歌、テレサテンの名曲の数々、メダカの兄弟など、多くの名曲を生み出した昭和のヒット曲メーカー・荒木とよひさ氏を迎え、豪華メンバーによる演奏や、名曲を生み出した秘話などの痛快なトークで盛り上がるコンサートをお贈りします。

**とき** 5月26日(日) 14時～

**ところ** エメラルドホール

**出演** 荒木とよひさ（お話）、甚目裕夫（お話・ピアノ）、二宮咲子（ソプラノ）、蛭牟田実里（歌）

**料金** 【全席指定】**一般** 3,000円（当日 3,500円）、

**学生** 1,000円（当日 1,500円）、**エメラルド会員**

2,500円

**チケット** 芸術文化ホールにて発売中



△荒木とよひさ



△甚目裕夫



△二宮咲子



△蛭牟田実里

## すいすい水族館

海浜水族館 ☎(48)3761

### 水族館リニューアル工事のうら話

海浜水族館は3月23日にリニューアルオープンしました。4か月の休館中、水族館のなかはどうなっていたのでしょうか。

まず最初に、エントランスや休憩室の工事が始まりました。お客さんのいない水族館に重機の音が響き渡るなか、スタッフは大水槽の改修に向けて魚たちを予備水槽に移動させたり、ほかの水族館にトラックで運び出したりしました。大きなサメやエイの移動は入念な計画のもと慎重に行い、無事に魚たちを移動させることができました。その後は、工事と並行して水族館スタッフ自ら小型水槽の壁面塗装を塗り直したり、アクリルガラスを磨く作業に取り掛かりました。アクリルガラスは長年の使用で魚の歯による傷が無数についており、白く濁って見えます。研磨は地道な作業ですが、少しでもクリアに魚が見られるよう職員交代で取り組みました。

そして、新しい展示生物の搬入、解説板の作り直し、休憩ベンチの補修、外のタイル磨きなどの作業のほかに、入館券やリーフレット、ペーパーキャップもデザインを一新し、工事以外にも多岐にわたる準備を重ね、あっという間に4か月が過ぎていきました。

新しい水族館は皆さんの目にどのように映りましたか。是非スタッフまで感想をお聞かせください。

